

観光立国行動計画（案）の主要事項

。21世紀の進路「観光立国」の浸透

- ・在京大使を官邸に集めて観光立国を世界にアピール
 - ・観光立国シンポジウムの開催
- ・ビジット・ジャパン・キャンペーンの国民への周知

。日本の魅力・地域の魅力の確立

「一地域一観光」

- ・国土交通省観光ホームページに、国民に地域の魅力発見を促す「魅力ネットサイト」を増設
- ・「観光カリスマ塾」の開催
- ・観光交流空間づくりモデル事業の推進
- ・体験型観光の推進として、「都市と農山漁村の共生・対流」の国民的な運動（オーライ！ニッポン・キャンペーン）の支援
- ・全国都市再生・構造改革特区等との一体推進

良好な景観形成

- ・公共事業の景観アセスメント（景観評価）システムの確立
- ・景観に関する基本法制の整備
- ・屋外広告物制度の充実等
- ・電線類地中化の推進

。日本ブランドの海外への発信

トップセールス

- ・総理大臣はじめ各大臣の外国訪問時、及び各国首脳の来日時におけるトップセールス
- ・総理出演のビデオの作成、重点マーケットにTV放映

ビジット・ジャパン・キャンペーン

- ・海外メディア等を通じた広報・宣伝、海外の旅行業者に対する日本向け旅行商品の開発のための情報提供支援を2本の柱として推進
- ・ITを活用した情報発信として、日本の魅力、観光関連情報を多言語で総合的に提供するポータルサイトを構築
- ・海外の主要20カ国・地域において、在外公館をはじめとする官民合同のビジット・ジャパン・キャンペーン現地推進会を立ち上げ

。観光立国に向けた環境整備

外国人が一人歩きできる環境整備

- ・外国人による環境整備状況の診断（モニター）
- ・外国人旅行者にもやさしい案内標識等の整備
（案内標識に関するガイドラインの策定、案内標識等の点検・重点的整備の推進、外国人対応が可能な観光案内所の増大・充実、駅におけるわかりやすい情報提供に関する検討）
- ・複数の国の店舗・交通機関等で使えるICカードの研究・実証実験

入国手続きの円滑化等

- ・中国からの訪日団体観光旅行に関し、在広州総領事館における査証申請受理及び制度の運用改善と査証発給対象地域の拡大
- ・事前旅客情報システム（APIS）の導入による入国審査の迅速化

旅行の低コスト化

- ・交通機関、観光施設等の外国人向け割引制度の検証
- ・宿泊施設にかかる外国人旅行者のニーズに対応した情報提供

。観光立国に向けての戦略の推進

- ・観光立国関係閣僚会議の下で、局長級会議を開催し、実施を推進
- ・実施施策の成果を定期的に点検・評価し、必要に応じ見直し（Plan・Do・